

接着系アンカー(無機系・打込み型・チューブ式)

認証取得者	株式会社ケー・エフ・シー	
所在地	〒530-0047 大阪市北区西天満3-2-17	
連絡先	Tel:06-6363-4126 Fax:06-6363-3128	
商品名	エスアールタイト	
接着剤の材質	プレミックスセメントモルタル	
認証種類	タイプ B	
認証番号	第19-0021号	
認証有効期間	2020年2月8日～2025年2月7日	

認証内容

構成部品	項目1	カプセル容器	材質	不織布
		形状	別添資料による。	
		寸法・許容差	別添資料による。	
	項目2	接着剤関連	材質	プレミックス特殊セメントモルタル
			強度	$\tau_{fu} \geq 10 \sqrt{\sigma_B / 21}$ (N/mm <sup>2</sup> )に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] $\tau_{fu}$ : 付着強度計算値 (N/mm <sup>2</sup> )、 $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )
	項目3	物性	圧縮強さ	29.4 N/mm <sup>2</sup> 以上
			曲げ強さ	4.9 N/mm <sup>2</sup> 以上
	項目4	アンカー筋関連	種類	異形棒鋼(JIS G3112) 種類と呼び名(径)は別添資料による。
			先端形状	寸切り
			外観	アンカー筋表面に接着剤の硬化、固着を阻害するものがないこと。
項目5	表面処理	材質	異形棒鋼: JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼	
		表面処理	無し	
項目6	強度	降伏点・引張り強さ・伸び率	別添資料による。	
	ねじ等級	—		
製品	項目7	ドリル径と許容差	別添資料による。	
	項目8	穿孔深さと許容差	別添資料による。	
	項目9	母材の種類	普通コンクリート	
	項目10	設計基準強度の範囲	18 N/mm <sup>2</sup> 以上、36 N/mm <sup>2</sup> 以下	
	項目11	環境条件(固着後)	外気温 -5°C 以上、80°C 以下とする。	
	項目12	引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式(1) から式(3)に対して 95%以上の信頼性を有している。 $T_{cc} = 0.23 \sqrt{\sigma_B \cdot A_c}$ …式(1)、 $T_{cb} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_b \cdot \ell_e$ …式(2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_n$ …式(3) [記号] $T_{cc}$ : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値(N) $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $A_c$ : コーン状破壊面の有効水平投影面積(mm <sup>2</sup> ) ( $= \pi \cdot \ell_e (\ell_e + d_b)$ ) $T_{cb}$ : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値(N) $\tau_a$ : 付着強度(N/mm <sup>2</sup> )で、次式による。(= $10 \sqrt{\sigma_B / 21}$ ) $\ell_e$ : アンカー筋の有効埋込み深さ(mm) ( $= L - d_b$ ) $L$ : アンカー筋の埋込み深さ(mm)、 $d_b$ : アンカー筋の外径(mm) $T_{tu}$ : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値(N) $\sigma_u$ : アンカー筋の素材の材料強度(N/mm <sup>2</sup> ) ( $= 1.1 \sigma_y$ ) $\sigma_y$ : アンカー筋の規格降伏点(N/mm <sup>2</sup> ) $a_n$ : アンカー筋の最小断面積(mm <sup>2</sup> )	
	項目13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が $\delta$ 、下記の条件を95%以上の信頼性を持って満足している。 $\min\{2/3 \cdot T_{my}, 0.4 T_{cc}, 0.4 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 $\delta$ が、0.3 mm 以下 $\min\{T_{my}, 0.6 T_{cc}, 0.6 T_{cb}\}$ 時における軸方向の変位量 $\delta$ が、1.0 mm 以下 [記号] $T_{my}$ : アンカー筋の降伏引張耐力( $= \sigma_y \cdot a_n$ )	
	項目14	せん断耐力算定式	次式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{mc} \geq 0.4 \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \cdot s \cdot a_0$ ただし、 $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_B} \leq 900$ (N/mm <sup>2</sup> ) $Q_{mu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s \cdot a_0$ [記号] $Q_{mc}$ : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値(N) $E_c$ : 母材コンクリートのヤング係数(N/mm <sup>2</sup> ) $\sigma_B$ : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) $s \cdot a_0$ : アンカー筋の最小断面積(mm <sup>2</sup> ) $Q_{mu}$ : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値(N) $\sigma_u$ : アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm <sup>2</sup> )	
	項目15	せん断剛性	$0.6 Q_{mc}$ 時又は $0.6 Q_{mu}$ 時における水平変位量が 5mm 以下又は $0.3d$ ( $d$ : アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して、95%以上の信頼性を持って満足している。	

[注] 項目1～15は、評価認証審査項目を示す。

接着系アンカー(無機系・打込み型・チューブ式)

別添資料

【カプセル容器の形状、寸法、許容差】

品番	カプセル径 (mm)	カプセル長 (mm)	内容量		アンカー筋	ドリル径(mm)		穿孔深さ(mm)	
			(g)	許容差		径	許容差	穿孔深さ	許容差
SR-13	13	110	26	+2.6 -0.0	D13	16	+0.2 -0.0	130	+6.5 -0.0
SR-16	16	120	38	+3.8 -0.0	D16	20	+0.2 -0.0	160	+8.0 -0.0
SR-19	19	150	70	+7.0 -0.0	D19	24	+0.2 -0.0	190	+9.5 -0.0
SR-22	22	170	110	+11.0 -0.0	D22	28	+0.2 -0.0	220	+11.0 -0.0
SR-25	25	240	200	+200 -0.0	D25	32	+0.2 -0.0	250	+12.5 -0.0

【アンカー筋の強度、ねじの等級】

1. ねじの材質の引張強さ、規格降伏点、伸び率

2. 異形棒鋼の材質の引張強さ、規格降伏点、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	降伏点又は0.2%耐力 (N/mm <sup>2</sup> )	伸び率 (%)	
				棒鋼の径 (mm)	
				D25 未満	D25 以上
SD345	JIS G 3112	490 以上	345~440	18 以上	20 以上